

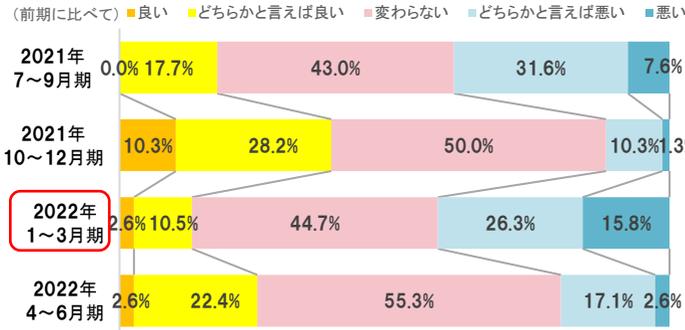
神戸商工会議所 経営経済四半期動向調査 (2022年1~3月期) 調査結果

●調査対象 神戸商工会議所会員76事業所/対象106事業所
●調査時期 2022年3月1日~14日

●調査内容 1~2: 定期調査 / 3~4: 付帯調査

1. 各社の業況について

◆今期(1~3月)は、1月下旬のまん延防止等重点措置の発令、原材料価格の高騰等の影響により、前期の業況改善から一転し、業況悪化となった。
◆来期(4~6月)の予測は、一部持ち直しの見方があるものの、現状維持が5割強を占めるなど、先行きの不透明感から、足取りの重さが伺われる。



| 前期との比較 10~12月 →1~3月 | 良い / どちらかと言えば良い | | どちらかと言えば悪い / 悪い | |
|---------------------------|-----------------|-------------|--------------------------------|-------------|
| | | 38.5%→13.1% | ▲25.4% | 11.6%→42.1% |
| 主な業種 | 不動産、真珠製造・販売 など | | 商業施設、菓子製造・販売 建築材料卸売、電気工事 など | |

(参考) 前回調査時 2022年1~3月期 予測



2. 各社・業界での特徴的な動きなど

(1) 個人消費の動向

- 需要は好調に推移している。 【不動産/真珠製造販売】
- WEB販売は好調を維持。原材料費、資材費の値上げ連絡が多方面から来ており、長引けば商品価格への反映を検討している。 【菓子製造・販売】
- 売上は好調であったが、第6波により来店客が減少。 【菓子・パン製造販売/商業施設】
- 年末年始は客足も戻りつつあったが、第6波により再び来店客が急減した。 【ホテル】
- まん防による客数・売上減が想定より長引いている。【百貨店/靴製造販売/菓子製造】
- 県民割の停止や修学旅行の中止・延期など、今期は更に厳しい状況にある。【旅行】

(2) 原材料価格等の高騰

- ほとんど全ての品目で資材価格が高騰している。 【総合建設】
- 包装資材、特にフィルムの品薄・値上げが大きい。 【食品加工】
- 原材料費の値上げが続いているが、競争が激しくなかなか価格転嫁できない。 【印刷】
- 原材料・運送費のコストアップを受け、価格改定を進めている。 【食品製造】
- 2月に価格改定を行っており、4月以降の業績への反映を期待している。【電気機械製造】

(3) 供給制約の影響

- 半導体不足等の影響により、資材・機器等の確保が難しく、工期にも影響を及ぼしている。 【総合建設】
- 昨年末から資材が急に入荷しなくなっており、受注できない、または受注しても施工できなくなっている。売上・利益とも見通しが立ちにくい状況。 【電気工事】
- 半導体の部品入手難により、希望納期通りに請けられない事例が発生。【電気機械製造】
- 厨房機器などの部品が入りにくく、修理や更新に支障をきたしている。 【飲食店】

(4) ロシアによるウクライナ侵攻の影響

- エネルギー価格の高止まりが続いている。 【エネルギー】
- 原油価格の高騰、それに伴う合成ゴム等原材料価格の上昇が利益を圧迫すると思われる。今後の動向を注視していく必要がある。 【工業用ゴム製造】
- 原油価格が高騰し、運航コストの増大に繋がっている。 【運輸】
- 回復の兆しの見えない海外との人流について、一層見通しが立たなくなりつつある。 【旅行】
- 経済の冷え込み等の不安要因が、住宅の買い控えにつながることを懸念。 【不動産】

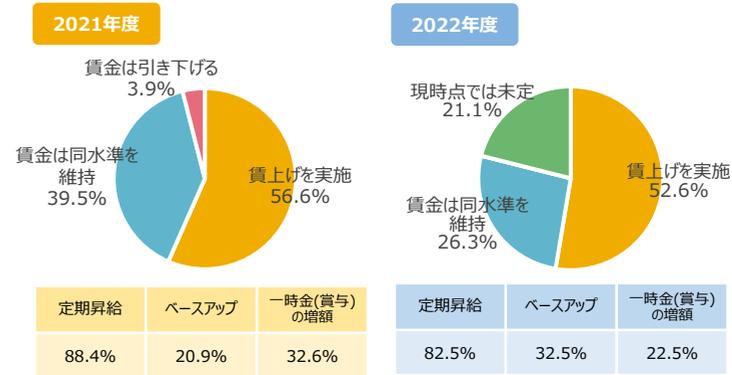
(5) その他業界の動向

- SDGsに対応した商品の問い合わせが増えている。 【印刷】
- 環境事業への参入のため、多額の設備投資が必要となってきた。人手不足に対応するため、生産性向上に関するシステム投資意欲が高まっている。 【総合建設】
- 小規模の同業者の廃業が続いている。 【印刷】
- 中小事業者の中で間屋業の廃業・M & Aの動きが顕著になってきた。 【食品小売】

3. 賃金の動向について

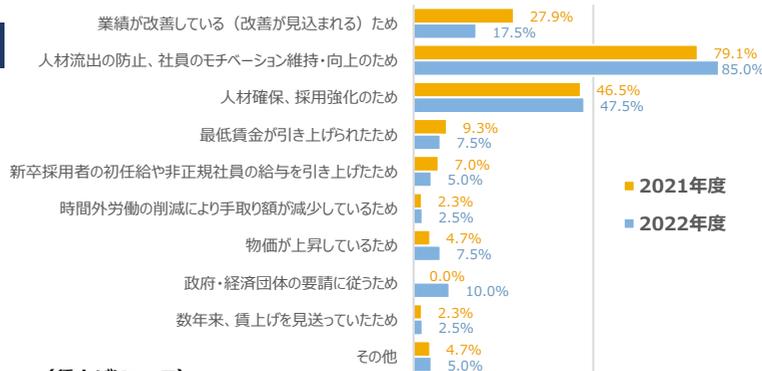
① 正社員の賃上げ状況について

- 2021年度に「賃上げを実施」したのは5割を超え、2022年度も同傾向を示した。
- 2022年度の実施予定内容(「賃上げを実施」と回答した企業が対象・複数回答)では、「ベースアップ」が3割超と前年度より10%以上増加した一方、「一時金(賞与)の増額」は2割超と減少した。



② 賃上げを実施した理由について (「賃上げを実施」と回答した企業が対象・複数回答)

- 2021年度・2022年度ともに「人材流出の防止、社員のモチベーション維持・向上のため」が最も多く、次いで「人材確保・採用強化のため」となった。
- 「業績が改善しているため」は3割弱(2021年度)に留まり、業績の改善が見られない中で賃上げを実施する「防衛的な賃上げ」が多数を占めていることが伺える。
- また、「政府・経済団体の要請に従うため」との回答は、1割(2022年度)であった。



(賃上げについて)

- 利益が出れば一時金・賞与で賃上げを継続している。 【総合建設】
- 慢性的な人手不足が続いているものの、今後の業績見通しが不透明で、ベースアップ等の賃上げは難しい。 【催会場装飾】
- 国交省の入札制度改定により、賃上げ1.5%を表明した会社に評価点加点の動きがあり、対応に追われている。 【土木工事】

4. 雇用・人材確保等について

- 人材確保については懸念なく、人員も充足できている。 【不動産】
- リモートワークを進め、遠方の地域からも採用ができている。 【菓子製造・販売】
- コロナ禍で働き方改革が進み、年間休日を増加、原則完全週休2日制とした。 【印刷】
- 連続5日の有給取得者に対する報奨金支払い制度を設けている。 【エネルギー】
- 採用しても同数退職になるような状態が続いている。待遇の改善や働き方改革の取り組みが急がれるが、業績が伴わなければ難しい。 【観光施設】
- 人手不足の解消には、設備導入による合理化・省力化、職場環境改善の両面の取り組みが必要。 【化成品製造】
- 技術者・技能者の採用難が慢性的に続いており、高齢化が進む一方。 【土木工事】
- 全体的な高齢化と中堅層の人手不足により、年齢構成にひずみが出ている。シニア層の活性化、中途・新卒採用等で対応しているが解消は難しい。 【情報サービス】
- 求人募集をしても、65才以上からの問い合わせが大半。 【ゴルフ練習場】
- 理工系知識を持った即戦力の人材確保はハードルが高い。 【電気機械器具卸売】
- デジタルスキルに強い人材が社内におらず、事業実装に時間がかかっている。 【飲料卸売】
- 感染状況により集客の増減が大きく、一時的に回復した際の人員確保に苦慮している。航空・鉄道・旅行等の人気企業が新卒採用を再開しており、競争激化を予想。 【ホテル】
- 売上が上向くと人員不足が浮き彫りとなる。 【菓子製造】